

平成 26 年度森林・環境基金事業 主な事業の進捗

○県民協働による森の通信簿事業

- ・実施グループの公募を5月15日（木）～6月13日（金）にかけて行い、下記の5グループでの実施が決定。
- ・今後、活動に必要な資材費や勉強会開催費を助成する予定。

グループ名	所在市町村
天神川を考える会	岐阜市
山菜の里いび	揖斐川町
明宝山里研究会	郡上市
加子母森林環境保全研究会	中津川市
山と森のお援け隊	高山市

○水源林公有林化支援事業

- ・市町村（中津川市、八百津町、白川町）から当初予算額を上回る要望があったため、補正予算で増額して対応する予定。

区 分	当初計画	要望量
事業量（公有林化面積）	2箇所 35ha	3箇所 ^(注) 33ha
事業費	17,500 千円	23,055 千円

(注)中津川市、八百津町、白川町

○里山林整備事業

- ・市町村や森林組合等の事業主体から当初予算額を上回る要望があったため、補正予算で増額して対応する予定。

区 分		当初計画	要望量
事業量	里山林整備面積	600ha	958ha
	施設改修	12箇所	16箇所
事業費		223,625 千円	283,625 千円

○環境保全モデル林整備事業

- ・平成24年度選定モデル林（美濃市古城山）

4月に整備が完了し、6月8日から活用開始。同日開催の山開きイベントには、地域の子どもからお年寄りまで約500名が訪れ、里山遊びや森林散策を満喫。

・平成25年度選定モデル林（可児市我田の森）

6月13日に県と市との間でモデル林整備に関する協定を締結。

7月末から作業道や管理棟等の設計・工事に着手する予定。

・平成26年度選定モデル林

候補地を3月17日（月）～5月16日（金）にかけて公募したところ、4箇所（多治見市、中津川市、土岐市、揖斐川町）の応募があり、その中から、有識者等による現地調査、意見を踏まえて選定。

選定後、地域との協働により整備・活用計画を策定していく。

○清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業（PR事業）

- ・平成26年度からの拡充点をまとめたチラシを作成。7月末から既存のリーフレットに挟み込みで配布。
- ・認知度向上のためのPR事業として、主に下記の1～3を実施する予定。県政モニター調査（11月実施）における、認知度50%を目指す（参考：昨年度の同調査による認知度は33.5%）。

1. マスメディアを活用した森林・環境税PR事業

内容：ショッピングセンターのレジ前モニターや県内全域のフリーペーパーなどマスメディアを効果的に活用して、森林・環境税の認知度・理解度の向上に向けたキャンペーンを実施。

期間：8月～11月

2. ぎふ木育スタンプラリーによる森林・環境税のPR

内容：県内で行われる「ぎふ木育」に関するイベント約30か所を巡るスタンプラリー。スタンプを集めた応募者に、森林・環境税の刻印等を付した県産材グッズ（フォトフレームやパズルなど）を贈呈。主に幼児～小学生の子をもつ世代がターゲット。

期間：7月～2月

3. チーム清流ミナモによる「森林・環境税PRキャラバン」

内容：県内大型ショッピングセンター（約10か所）において、森の大切さを題目としたキャラクターショーの上演や、ぎふ木のおもちゃコーナーの設置、ノベルティグッズの配布などを実施

期間：7月～8月